

2023年3月期 第3四半期決算説明会

2023年2月3日

目次

1. 2023年3月期 第3四半期決算概要	p.3-8
2. 2023年3月期 通期業績予想	p.9-15
➤ Appendix	p.16-20
✓ セグメント別状況	

(※) 本資料上、「感染症」との表記は、「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）」を指します

**(添付) Ocean Network Express
2022年度第3四半期決算説明資料**

3Q振り返り（累計期間/前年同期比）

▶ 売上高 : 2兆501億円 (3,742億円 増収)

- ・ 不定期専用船事業 - 自動車輸送における輸送台数増加とドライバルクの中小型バルカーを中心とした好市況下での輸送契約獲得 (2,320億円の増収)
- ・ ライナー&ロジスティクス事業 (定期船・航空運送・物流) - 運賃水準の上昇 (1,257億円の増収)

▶ 経常損益 : 1兆59億円 (3,076億円 増益)

- ・ 定期船事業 - 3Qはスポット運賃下落や荷動き鈍化が見られたものの、上期後半までの高市況に支えられ高い利益水準を維持 (2,243億円 増益)
- ・ 不定期専用船事業 - 自動車輸送では輸送需要の変化に柔軟に対応し輸送二ーズの取り込みに成功し、ドライバルクでは時機を捉え好況下で輸送契約を獲得 (805億円 増益)
- ・ 為替変動による増益影響 (為替レート : 1-3Q ￥135.70 | 前年同期 ￥110.97)

▶ 当期純損益 : 9,203億円 (2,281億円 増益)

セグメント別（経常損益 累計期間/前年同期比）

▶ 定期船 : **7,288億円（2,243億円 増益）**

コンテナ船（Ocean Network Express社）

- ・ 2Q後半から欧米を中心とした消費財の在庫積み上がりやインフレ等の複合要因で需要が減退し、供給面も一部を除き港湾混雑が解消し輸送スペースが増加
- ・ 3Qではスポット運賃の更なる下落や荷動き鈍化が見られるも、上期を含めた平均運賃水準は前年同期比で大幅に良化

ターミナル

- ・ 国内外ともに前年同期比で取扱量は減少
- ・ 3Qは海外ターミナルでのコンテナ滞留が解消傾向に向かい、それに伴う付帯収入が減少するも、上期の積み上げが収支に貢献

▶ 航空運送 : **564億円（前年同期並み）**

- ・ 海上貨物の一部が航空輸送に切り替わる動きも弱まり、例年3Qに顕著となる旺盛な貨物需要が見られず、取扱量は前年同期比で減少
- ・ 一方、半導体関連貨物の取り込みと長期契約が収支を下支え

セグメント別（経常損益 累計期間/前年同期比）

▶ 物流 : 502億円（45億円 増益）

- ・ 航空貨物 例年繁忙期にあたる3Qにおいても荷動きが回復せず、取扱量減少とともに利益水準も低下
- ・ 海上貨物 取扱量は前年同期を下回ったものの、通関手続き等の付帯サービス拡販や夏場以降の短期運賃下落が仕入価格を引き下げたことで堅調な利益を維持
- ・ ロジスティクス 需要の底堅い一般消費財の取り扱いにより好調に推移
欧米においては、人件費・光熱費の高騰に伴う価格改定を実施

▶ 不定期専用船 : 1,744億円（805億円 増益）

自動車輸送

- ・ 半導体不足や感染症拡大による減産影響が3Q以降解消傾向に向かい、配船の工夫や代替貨物の獲得もあり、輸送台数は前年同期比で増加

ドライバルク事業

- ・ 各船型の市況は2Q以降伸び悩み前年同期を下回ったものの、1Qの好市況下で獲得した中小型バルカーの輸送契約が3Qまで一定程度貢献し、業績は堅調に推移

エネルギー事業

- ・ VLCCおよびVLGCは、堅調な荷動きにより市況は前年同期比で大きく良化
- ・ LNGおよび海洋事業では中長期契約に支えられ、業績は順調に推移

第3四半期決算（サマリー）

実績



(億円)	22/3期						23/3期				1-3Q 累計 増減
	1Q	2Q	3Q	累計	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	累計	
売上高	5,046	5,467	6,245	16,759	6,048	22,807	6,730	6,928	6,843	20,501	3,742
営業損益	530	649	800	1,979	709	2,689	891	741	860	2,494	514
経常損益	1,536	2,436	3,010	6,983	3,048	10,031	3,777	3,876	2,406	10,059	3,076
親会社株主に 帰属する 当期純損益	1,510	2,602	2,808	6,922	3,168	10,091	3,433	3,626	2,143	9,203	2,281
為替レート	¥109.80	¥109.99	¥113.12	¥110.97	¥115.34	¥112.06	¥126.49	¥136.64	¥143.98	¥135.70	¥24.73
燃料油価格	\$441.92	\$515.24	\$555.96	\$504.05	\$616.36	\$531.19	\$789.48	\$887.41	\$732.07	\$801.46	\$297.41

前年同期比較（セグメント別）

実績



事業セグメント (億円)		22/3期						23/3期				1-3Q累計増減
		1Q	2Q	3Q	累計	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	累計	
ライナー & ロジスティクス事業	定期船	501	438	470	1,410	494	1,905	518	494	522	1,535	124
		1,113	1,790	2,140	5,044	2,297	7,342	2,704	2,965	1,617	7,288	2,243
	航空運送	439	458	518	1,416	471	1,887	625	613	544	1,783	367
		153	177	233	564	176	740	246	194	123	564	0
	物流	1,768	2,005	2,359	6,133	2,341	8,474	2,398	2,346	2,154	6,899	765
		115	168	172	456	130	587	193	178	130	502	45
	(単純合計)	2,709	2,901	3,349	8,960	3,307	12,267	3,541	3,454	3,221	10,217	1,257
		1,382	2,135	2,547	6,065	2,604	8,670	3,144	3,338	1,872	8,355	2,289
事業専用定期船	不定期専用船	2,176	2,392	2,676	7,246	2,499	9,745	2,922	3,242	3,402	9,566	2,320
		160	316	462	939	451	1,391	641	552	550	1,744	805
その他事業	不動産	15	8	8	33	8	42	8	8	8	25	▲ 7
		7	4	4	16	4	21	4	3	4	12	▲ 4
その他事業	その他	339	378	465	1,182	521	1,704	631	620	591	1,843	660
		▲ 6	▲ 10	6	▲ 11	0	▲ 12	3	▲ 2	5	6	17
消去・全社		▲ 195	▲ 213	▲ 254	▲ 662	▲ 288	▲ 951	▲ 373	▲ 398	▲ 380	▲ 1,151	▲ 489
		▲ 7	▲ 9	▲ 9	▲ 27	▲ 11	▲ 38	▲ 16	▲ 16	▲ 26	▲ 59	▲ 31
連結		5,046	5,467	6,245	16,759	6,048	22,807	6,730	6,928	6,843	20,501	3,742
		1,536	2,436	3,010	6,983	3,048	10,031	3,777	3,876	2,406	10,059	3,076

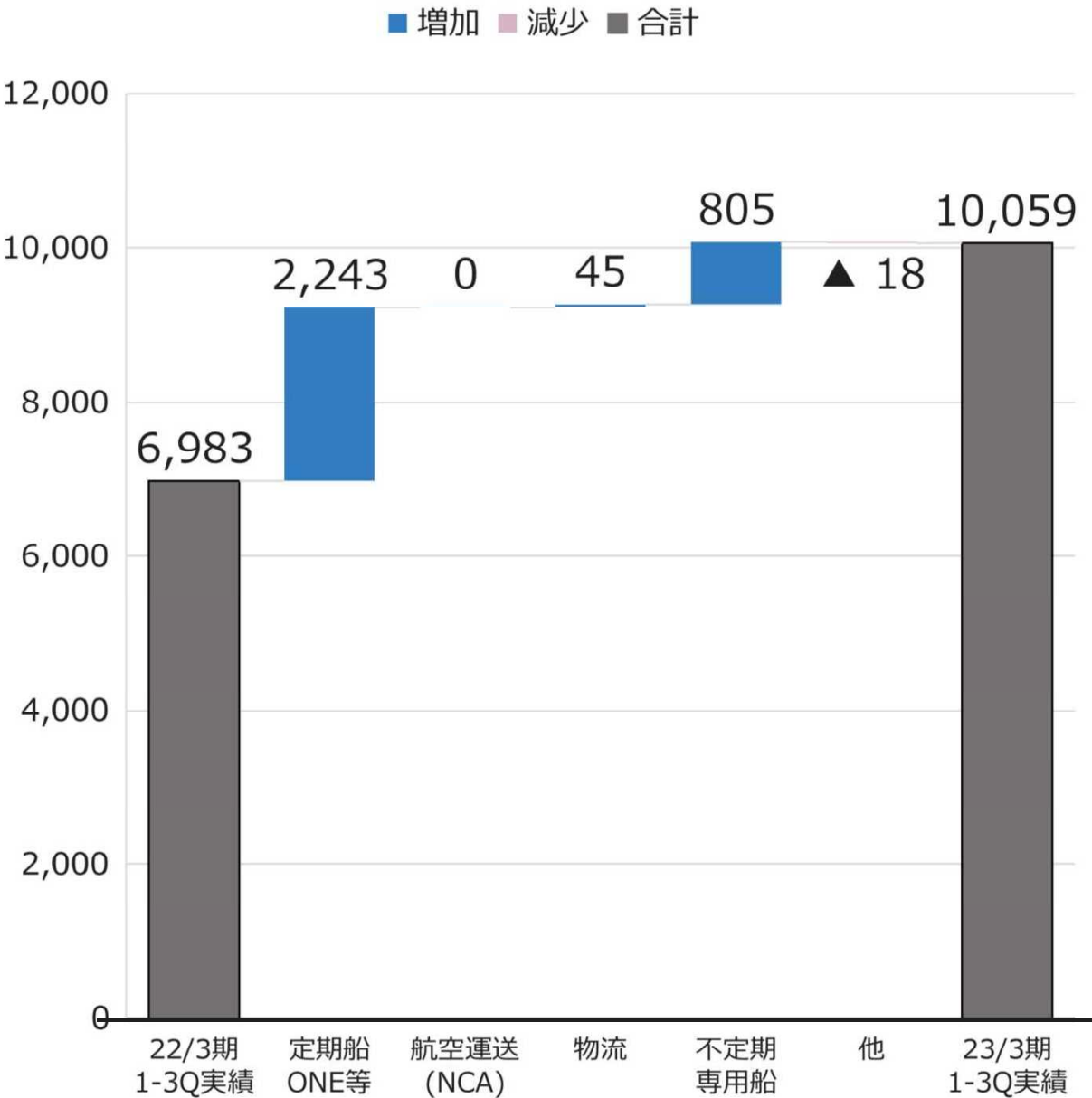
※（上段）売上高 （下段）経常損益

要因別分析

	(億円)	
円安	1,299	今期 135.70円/\$ 24.73円の円安
燃料油高	▲ 91	今期 \$801.46/MT \$297.41/MTの上昇
海運市況 変動等	1,813	定期船(含むONE) +1,235 不定期船 +578
為替差損益	▲ 27	
その他	81	物流 +45
合計	3,076	

事業別分析

(単位：億円)



通期業績予想（前回 2Q決算時 予想比）

▶ 売上高 : 2兆6,000億円（1,000億円 下方修正）

- ・ ライナー&ロジスティクス事業（定期船・航空運送・物流） : 485億円の下方修正
- ・ 不定期専用船事業 : 410億円の下方修正

▶ 経常損益 : 1兆800億円（300億円 下方修正）

- ・ 定期船および航空運送事業 : 580億円の下方修正
- ・ 不定期専用船事業 : 250億円の上方修正

▶ 当期純損益 : 1兆円（300億円 下方修正）

▶ 配当 : 期末 160円/株（株式分割後）

- ・ 連結配当性向25%を目安とする株主還元の基本方針に基づき、前回予想から変わらず、期末配当を160円/株とする予定
- ・ 2022年9月30日を基準日および10月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施
実施済みの中間配当1,050円/株と合わせ、年間配当金は分割前基準で1,530円/株となる見通し

セグメント別（経常損益 前回決算時の予想比）

▶ 定期船 : 7,670億円（480億円 下方修正）

コンテナ船（Ocean Network Express社）

- ・ 短期運賃市況の改善と旧正月以降の荷動き回復には一定の時間を要することを想定
- ・ 上期の実績に支えられ通期では好調な利益水準となる見通しも、4Qでは利益水準の低下を見込む

ターミナル

- ・ 海外ターミナルにおいて、取扱量およびコンテナ滞留に伴う付帯収入が引き続き減少する見込み

▶ 航空運送 : 630億円（100億円 下方修正）

- ・ 例年程ピークシーズンの盛り上がりが見られなかった3Qに続き、荷動き低調による輸送スペースの需給緩和を想定

セグメント別（経常損益 前回決算時の予想比）

▶ 物流 : 550億円（30億円 上方修正）

- ・ 航空貨物 低調な荷動きを見込むも、通期では堅調な利益水準を維持できる見通し
- ・ 海上貨物 荷動き鈍化の影響を受けるも、下期の市況低迷による仕入価格下落を受け一定の利益水準確保を見込む
- ・ ロジスティクス 米国では取扱量の減少が見られるが、欧州を中心に契約の見直しやコスト削減を進め、引き続き収益安定化を見込む

▶ 不定期専用船 : 2,050億円（250億円 上方修正）

自動車輸送

- ・ 半導体や自動車部品不足による完成車生産台数への影響は解消傾向にあり、4Qでは挽回生産が見込まれるなど需要は引き続き強く、輸送台数は前年同期を上回る予想

ドライバルク事業

- ・ 下期も1Qの好市況下で獲得した中小型バルカーの輸送契約による一定程度の下支えはあるものの、3Q同様、4Qも引き続き各船型で市況の下落を見込む

エネルギー事業

- ・ VLCC及びVLGCの市況は、3Qの水準からは下がるものの、引き続き底堅く推移する想定
- ・ LNG船や海洋事業の中長期契約に支えられ、堅調な業績推移を見込む

通期業績予想 (サマリー)

業績予想



(億円)	22/3期(実績)				通期	23/3期(予想)					通期 増減	前回 予想比 (通期)
	上期		下期			上期(実績)		下期		通期		
	1Q	2Q	3Q	4Q		1Q	2Q	3Q(実)	4Q			
売上高	10,513		12,293		22,807	13,658		12,342		26,000	3,193	▲ 1,000
	5,046	5,467	6,245	6,048		6,730	6,928	6,843	5,499			
営業損益	1,179		1,510		2,689	1,633		1,267		2,900	211	200
	530	649	800	709		891	741	860	406			
経常損益	3,972		6,059		10,031	7,653		3,147		10,800	769	▲ 300
	1,536	2,436	3,010	3,048		3,777	3,876	2,406	741			
親会社株主に帰属する 当期純損益	4,113		5,977		10,091	7,060		2,940		10,000	▲ 91	▲ 300
	1,510	2,602	2,808	3,168		3,433	3,626	2,143	797			
為替レート	¥109.80	¥109.99	¥113.12	¥115.34	¥112.06	¥126.49	¥136.64	¥143.98	¥130.00	¥134.28	¥22.22	¥-3.01
燃料油価格（全油種）	\$441.92	\$515.24	\$555.96	\$616.36	\$531.19	\$789.47	\$887.41	\$732.07	\$660.00	\$767.24	\$236.05	-\$34.61
燃料油価格（HSFO）	-	-	-	-	-	-	-	-	\$420.00	-	-	-
適合油価格（VLSFO）	-	-	-	-	-	-	-	-	\$680.00	-	-	-

▶ 経常利益に対する感応度 (4Qの残り3カ月)

為替レート : 1円の円安で約17.8億円の増益 (※)

燃料油価格 : \$ 10/MTの燃料油価格下落で約1.2億円の増益

(※)外貨建て持分法投資損益の換算は、期中平均為替レートを採用

通期業績予想（セグメント別）

業績予想



事業セグメント (億円)		22/3期（実績）							23/3期(予想)							通期 増減
		1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q(実)	2Q(実)	上期(実)	3Q(実)	4Q	下期	通期	
ライ ナ ー & ロ ジ ス テ ィ ク ス 事 業	定期船	501	438	940	470	494	965	1,905	518	494	1,012	522	445	968	1,980	75
		1,113	1,790	2,903	2,140	2,297	4,438	7,342	2,704	2,965	5,670	1,617	383	2,000	7,670	328
	航空運送	439	458	897	518	471	989	1,887	625	613	1,239	544	466	1,011	2,250	363
		153	177	330	233	176	410	740	246	194	440	123	67	190	630	▲ 110
	物流	1,768	2,005	3,773	2,359	2,341	4,701	8,474	2,398	2,346	4,744	2,154	1,786	3,941	8,685	211
		115	168	284	172	130	303	587	193	178	371	130	49	179	550	▲ 37
	(単純合計)	2,709	2,901	5,610	3,349	3,307	6,656	12,267	3,541	3,454	6,996	3,221	2,697	5,919	12,915	648
		1,382	2,135	3,518	2,547	2,604	5,151	8,670	3,144	3,338	6,483	1,872	498	2,370	8,850	180
	不定期 専用船	2,176	2,392	4,569	2,676	2,499	5,176	9,745	2,922	3,242	6,164	3,402	2,524	5,926	12,090	2,345
		160	316	477	462	451	913	1,391	641	552	1,194	550	306	856	2,050	659
そ の 他 事 業	不動産	15	8	24	8	8	17	42	8	8	17	8	4	13	30	▲ 12
		7	4	12	4	4	9	21	4	3	8	4	3	7	15	▲ 6
	その他	339	378	717	465	521	986	1,704	631	620	1,252	591	651	1,243	2,495	791
	消去・全社	▲ 195	▲ 213	▲ 408	▲ 254	▲ 288	▲ 543	▲ 951	▲ 373	▲ 398	▲ 771	▲ 380	▲ 378	▲ 758	▲ 1,530	▲ 579
		▲ 7	▲ 9	▲ 17	▲ 9	▲ 11	▲ 21	▲ 38	▲ 16	▲ 16	▲ 33	▲ 26	▲ 35	▲ 61	▲ 95	▲ 57
	連結	5,046	5,467	10,513	6,245	6,048	12,293	22,807	6,730	6,928	13,658	6,843	5,499	12,342	26,000	3,193
		1,536	2,436	3,972	3,010	3,048	6,059	10,031	3,777	3,876	7,653	2,406	741	3,147	10,800	769

※（上段）売上高 （下段）経常損益

通期業績予想（セグメント別・前回今回予想比）

業績予想



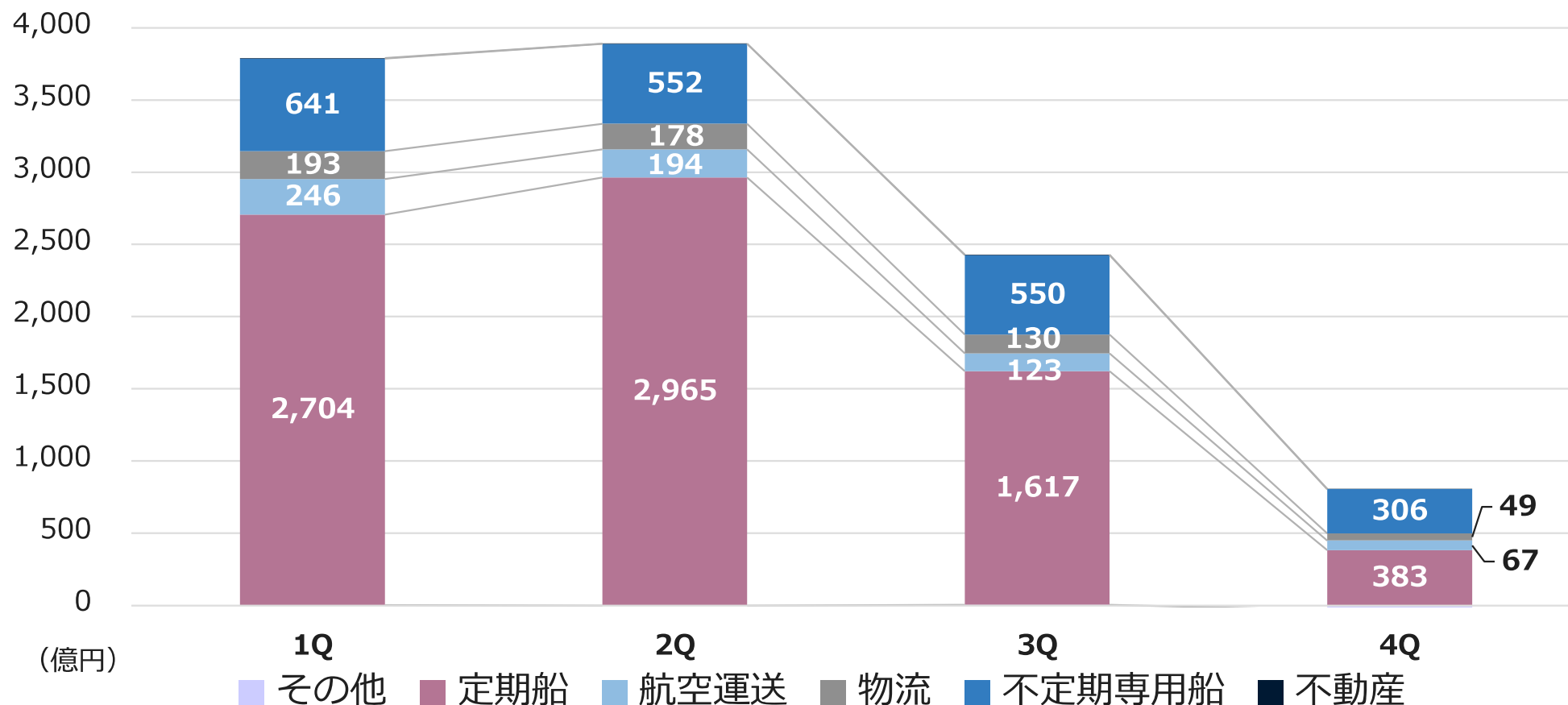
事業セグメント		前回予想			今回予想					前回予想差
		(億円)	上期(実)	下期	通期	上期(実)	3Q(実)	4Q	下期	通期
ライナー & ロジスティクス事業	定期船	1,012	988	2,000	1,012	522	445	968	1,980	▲ 20
		5,670	2,480	8,150	5,670	1,617	383	2,000	7,670	▲ 480
	航空運送	1,239	1,261	2,500	1,239	544	466	1,011	2,250	▲ 250
		440	290	730	440	123	67	190	630	▲ 100
	物流	4,744	4,156	8,900	4,744	2,154	1,786	3,941	8,685	▲ 215
		371	149	520	371	130	49	179	550	30
(単純合計)	6,996	6,404	13,400	6,996	3,221	2,697	5,919	12,915	▲ 485	
	6,483	2,918	9,400	6,483	1,872	498	2,370	8,850	▲ 550	
不定期専用船	6,164	6,336	12,500	6,164	3,402	2,524	5,926	12,090	▲ 410	
	1,194	606	1,800	1,194	550	306	856	2,050	250	
その他事業	不動産	17	13	30	17	8	4	13	30	0
		8	7	15	8	4	3	7	15	0
	その他	1,252	1,298	2,550	1,252	591	651	1,243	2,495	▲ 55
		0	▲ 25	▲ 25	0	5	▲ 30	▲ 25	▲ 25	0
	消去・全社	▲ 771	▲ 709	▲ 1,480	▲ 771	▲ 380	▲ 378	▲ 758	▲ 1,530	▲ 50
		▲ 33	▲ 57	▲ 90	▲ 33	▲ 26	▲ 35	▲ 61	▲ 95	▲ 5
連結	13,658	13,342	27,000	13,658	6,843	5,499	12,342	26,000	▲ 1,000	
	7,653	3,447	11,100	7,653	2,406	741	3,147	10,800	▲ 300	

※ （上段）売上高 （下段）経常損益

2023年3月期 経常損益の推移（セグメント別）

上期からの変化

- ▶ ライナー&ロジスティクス：サプライチェーンが正常化に向かう中、消費地での在庫積み上がりやインフレ等の複合要因で需要が減退し、コンテナの短期運賃が更に下落。航空貨物も例年3Qのピークシーズンにおける盛り上がりはなく、荷動きは低調に推移。物流事業も同様の影響を受けた
- ▶ 不定期専用船：ドライバルクの市況は下落するも、自動車輸送は好調な輸送台数を維持。エネルギー輸送も引き続きLNG船を中心とした中長期契約に支えられ、堅調推移



Appendix

1. 航空運送事業（NCA）

	22/3期(実績)					23/3期(予想)					前回 予想比 (通期)
	上期		下期		通期	上期(実績)		下期		通期	
	1Q	2Q	3Q	4Q		1Q	2Q	3Q(実)	4Q		
売上高(億円)	897		990		1,887	1,239		1,011		2,250	▲ 249
	439	458	518	471		625	613	544	466		
経常損益(億円)	330		410		740	440		190		630	▲ 100
	153	177	233	176		246	194	123	67		
輸送重量	250		210		460	199		189		388	▲ 10
千トン	129	121	110	101		97	103	99	90		
輸送量(RTK) 百万トンキロ	1,425		1,252		2,677	1,185		1,108		2,293	▲ 107
	726	699	651	602		598	587	579	529		
供給量(ATK) 百万トンキロ	1,874		1,715		3,589	1,779		1,700		3,479	▲ 151
	953	922	890	825		880	899	897	803		
YIELD指数	144		190		164	241		204		223	▲ 10
09/3期 1Q=100	139	149	193	187		251	231	208	201		
燃料単価 (ジェット燃料)	\$74		\$100		\$87	\$139		\$122		\$130	\$14
US\$ per bbl	\$71	\$77	\$89	\$112		\$148	\$130	\$119	\$125		
機材の稼働時間	114		104		109	104		-		-	-
21/3期 1Q=100	115	113	109	99		104	104	104	-		

※ 輸送重量・輸送量(RTK)・供給量(ATK)・YIELD指数は、子会社及び提携航空会社への販売事業は含まない。

※ 稼働時間は、ドライリース中の機材を含まない。

▶ 2. 物流事業：郵船ロジスティクス

		21/3期 (実績)	22/3期(実績)				通期	23/3期(予想)				前回 予想比 (通期)	
		上期		下期		上期(実績)		下期		通期			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q		2Q	3Q(実)		4Q		
海上 輸出	TEU	723	370		351		721	336		324		660	▲ 18
	(1,000TEU)		188	182	182	168		167	169	164	160		
	前年同期比	▲ 5%	10%		▲ 9%		▲ 0%	▲ 9%		▲ 8%		▲ 8%	▲ 3%
			22%	0%	▲ 7%	▲ 11%		▲ 11%	▲ 7%	▲ 10%	▲ 5%		
航空 輸出	重量	326	201		199		400	158		144		302	▲ 19
	(1,000トン)		100	101	106	93		82	76	74	70		
	前年同期比	▲ 3%	52%		2%		23%	▲ 21%		▲ 27%		▲ 24%	▲ 5%
			56%	49%	16%	▲ 10%		▲ 18%	▲ 25%	▲ 30%	▲ 25%		

▶ 3. 不定期専用船事業 – 1) ドライバルカー・タンカー市況動向

		22/3期(実績)					23/3期(予想)					前回予想 (通期)
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q(実)	2Q(実)	3Q(実)	4Q	通期	
ドライバルカー	BDI	2,791	3,732	3,478	2,020	3,005	2,517	1,659	1,522	1,020	1,680	1,670
	Cape	31,280	42,380	42,306	14,603	32,642	21,347	13,764	15,022	7,500	14,408	14,028
	Panamax	25,912	33,612	29,127	23,006	27,914	26,580	17,194	15,987	12,500	18,065	18,193
	Handymax	25,407	34,278	30,382	24,853	28,730	28,873	19,742	14,717	11,500	18,708	18,779
	Handy	22,420	32,204	31,229	23,840	27,423	27,535	18,720	14,905	11,000	18,040	17,814
タンカー	VLCC	▲ 589	▲ 3,053	1,685	▲ 7,290	▲ 2,312	▲ 11,190	25,579	60,061	40,000	28,612	17,347
	VLGC	35,655	22,961	39,657	30,039	32,078	45,958	38,630	102,217	45,000	57,951	39,147

※ Cape = 5TC, Panamax = 5TC, Handymax = 10TC, Handy = 7TC

※ ドライバルク船型別市況（スポット傭船料）

5TC = 5航路平均、10TC = 10航路平均、7TC = 7航路平均（単位 = \$/day）

▶ 3. 不定期専用船事業 – 2) 自動車輸送

	22/3期(実績)				通期	23/3期(予想)					前回予想比 (通期)
	上期		下期			上期(実績)		下期		通期	
	1Q	2Q	3Q	4Q		1Q	2Q	3Q(実)	4Q		
輸送台数 (万台)	205		210		415	218		234		452	3
	107	98	103	107		106	112	124	110		
前年同期比	41%		▲ 0%		17%	6%		11%		9%	1%
	23%	67%	2%	▲ 2%		▲ 1%	14%	20%	2%		

※ 欧州域内輸送台数（スペースチャーター込み）を含む

ONE

OCEAN NETWORK EXPRESS

2022年度第3四半期決算説明資料

2023年1月31日

1.	2022年度第3四半期決算概要	P.3
2.	主要航路別積高・消席率・運賃指数	P.4
3.	サプライチェーン混乱の影響と対応	P.5
4.	2022年度通期見通し	P.6
5.	2022年度取り組み	P.7
6.	参考資料（船隊構成、航路構成、新造船発注残）	P.8

1. 2022年度第3四半期決算概要

□ 要点

短期運賃市況の急激な下落により前年同期比では大きく減益、第3四半期は2,768百万US\$の黒字となる

(対前年同期比▲2,120百万US\$、対前四半期比 ▲2,752百万US\$)

- ・需要面では、10-12月は、7-8月以来顕著となった北米商品在庫の積み上がり、インフレ進展による欧州での消費減退から、東西航路を中心に輸送需要が前四半期よりも更に落ち込んだ。
- ・供給面では、世界的な港湾混雑が一部を除き改善した結果、船腹供給量が増加した。
- ・更に軟化した需給バランスにより、短期運賃市況が2Qから急下落。対前年同期比・対前四半期比で収益を大きく落とした。

□ 2022年度第3四半期実績並びに対前年同期・対直前四半期比較

(単位：百万US\$)

	2021年度					2022年度					3Q 対前四半期期比		3Q 対前年同期比	
	1Q 実績	2Q 実績	1H 実績	3Q 実績	1Q-3Q 実績	1Q 実績	2Q 実績	1H 実績	3Q 実績	1Q-3Q 実績	増減	増減 (%)	増減	増減 (%)
売上高	5,776	7,557	13,333	8,332	21,665	9,019	9,367	18,386	6,254	24,640	-3,113	-33%	-2,078	-25%
EBITDA	2,924	4,572	7,496	5,286	12,782	5,859	5,843	11,702	3,060	14,762	-2,783	-48%	-2,226	-42%
EBIT	2,657	4,295	6,952	5,019	11,970	5,561	5,528	11,089	2,732	13,821	-2,796	-51%	-2,287	-46%
税引き後損益	2,559	4,200	6,760	4,889	11,648	5,499	5,521	11,019	2,768	13,788	-2,752	-50%	-2,120	-43%
燃料油価格 (US\$/MT)	\$465	\$509	\$487	\$531	\$501	\$750	\$875	\$812	\$747	\$791	-\$128	-15%	\$216	41%
総燃料消費量 (K MT)	906	891	1,797	854	2,651	773	771	1,543	732	2,275	-39	-5%	-123	-14%
総積高 (K TEU)	3,104	3,181	6,285	2,939	9,224	2,939	2,898	5,837	2,648	8,484	-250	-9%	-292	-10%



項目別の対前年同期比較

- ❑ 積高：欧米貨物需要の鈍化に伴い、大幅減少
- ❑ 運航費：船費増加。また、減便増加から燃料消費は減少し、全体として増加。
- ❑ 運賃：短期運賃が大幅に下落
- ❑ 可変費：インフレ影響はあるものの積高減による荷役費用減、空コンテナ関連費用の増加で微増
- ❑ 燃料油価格：油価は上昇
- ❑ 一般管理費：前年同期比並

2. 主要航路別積高・消席率・運賃指数

(単位：千TEU)

航路別積高・消席率		2021年度							2022年度			
		1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	2Q	上期	3Q
北米往航	積高	615	649	1,264	564	523	1,088	2,352	577	578	1,155	449
	消席率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	91%	95%	80%
欧州往航	積高	436	443	879	411	422	833	1,712	402	395	796	368
	消席率	100%	100%	100%	97%	97%	97%	100%	95%	95%	95%	90%
北米復航	積高	328	309	638	258	240	498	1,135	278	276	554	297
	消席率	54%	54%	54%	47%	51%	49%	52%	48%	51%	49%	49%
欧州復航	積高	339	347	687	305	289	594	1,281	282	267	549	243
	消席率	82%	78%	80%	69%	63%	66%	73%	58%	56%	57%	54%

(2018年度1Qの各航路総平均運賃を100とした指数)

航路別運賃指数		2021年度							2022年度			
		1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	2Q	上期	3Q
北米往航		185	247	216	285	304	294	252	354	389	372	264
欧州往航		327	451	389	539	552	546	466	530	508	519	303

➤ 積高・消席率

- ：北米航路の積高は、2Q比では北米側在庫の積み上がりにより急減。ターミナル混雑解消に伴う供給船腹増加により消席率も大きく低下。同様の理由から、前年同期比でも、積高・消席率ともに低下。
- ：欧州航路はエネルギー価格高騰やインフレ進展を受けた消費減退から、2Q比で積高・消席率は低下。同様の理由から対前年同期比でも大きく下回った。

➤ 運賃指数

- ：前年同期比で短期運賃市況は大幅に下落。2Q比でも同様に下落。

3. サプライチェーン混乱の影響

発生事象

- 8月から始まった需要の鈍化傾向が更に強まり、特にアジア発北米・欧州向けの需要が減速した。アジア発北米向け航路の10-11月の荷動きは、小売在庫が引き続き高い水準にあることから米国輸入量が減少したことで、前年同期比19%の減少。アジア発欧州向け航路の10-11月の荷動きは、エネルギー価格の高騰やインフレ進展を受けた消費減退により前年同期比21%減少。
- 中国におけるコロナロックダウンに伴う経済活動への影響、欧州諸港でのヤード逼迫、韓国でのトラックドライバーによるストライキ、カナダを中心とした北米鉄道の混雑等、散発的に陸上部分での物流混乱は発生したが、港湾機能は世界的にほぼ正常化。滞船解消に伴い、船腹供給量が増加。
- 北米西岸労使交渉は継続協議中。



ONEの 対応

Customer service oriented

- Chat機能を拡充。本年5月末までに全世界のカスタマーサービススタッフの約90%がChat機能を利用可能になり、お客様とのよりスムーズなコミュニケーションの実現と迅速なソリューション提供を目指す。

Operation excellency

- 年末年始等を中心とした減便対応による消席率の維持。
- 減便施策による本船アイドリング期間低減のため、極東-欧州/北米東岸ループ(復航)における喜望峰経由ルートの適宜利用。
- 減速航海等による燃料消費量/CO2排出量の低減。
- リースコンテナの返却や空コンテナの適時適所への回送によりコンテナ供給を最適化。

Quality of employee

- 社員同士の繋がりを維持し、地域社会に貢献するためのCSR活動を継続。



港湾混雑を中心としたサプライチェーンの供給混乱は正常化に向かう。

**ONEとしてはマーケットの需要に柔軟に対応すべく、
本船スペース・コンテナ機材供給の最適化を追求する。**

4. 2022年度通期見通し

□ 要点

4Qは貨物需要回復と運賃市況改善までに一定の時間がかかることを背景に減益が予想されるが、2022年度通期では、税引き後利益14,728百万US\$を見込む。

(対前年度実績比▲2,028百万US\$、対前回予想比 ▲542百万US\$)

3Qの税引き後利益2,768百万US\$。4Qは、旧正月休みの長期化、旧正月後の荷況回復に時間がかかることから減便の増加が見込まれる。運賃市況の回復も時間がかかる想定から、税引き後利益940百万US\$を予想。

□ 2022年度通期見通し

* 2022年10月末時点

(単位：百万US\$)

	2022年度 (前回予想*)			2022年度 (最新予想)					通期 (対前回予想)	
	上期実績	下期予想	通期予想	上期実績	3Q実績	4Q予想	下期予想	通期予想	増減	増減 (%)
売上高	18,386	11,530	29,916	18,386	6,254	4,507	10,761	29,147	-769	-3%
EBITDA	11,702	4,760	16,462	11,702	3,060	1,257	4,317	16,019	-443	-3%
EBIT	11,089	4,130	15,219	11,089	2,732	927	3,659	14,748	-471	-3%
税引き後損益	11,019	4,250	15,269	11,019	2,768	940	3,708	14,728	-542	-4%

燃料油価格 (US\$/MT)	\$812	\$813	\$813	\$812	\$747	\$691	\$719	\$767	-\$46	-6%
-----------------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-----

	2021年度 実績			通期(対前年)	
	上期	下期	通期	増減	増減 (%)
売上高	13,333	16,765	30,098	-951	-3%
EBITDA	7,496	10,783	18,279	-2,260	-12%
EBIT	6,952	10,244	17,196	-2,447	-14%
税引き後損益	6,760	9,997	16,756	-2,028	-12%

燃料油価格 (US\$/MT)	\$487	\$539	\$512	\$255	50%
-----------------	-------	-------	-------	-------	-----

項目別対前回予想比較

- 積高：荷況低下に対応する減便の増加に伴い減少。
- 運航費：減便の増加に伴い燃料消費・港費が減少。
- 運賃：短期運賃の下落に伴い減少
- 可変費：積高の減少に伴い減少。
- 燃料油価格：油価は下落予想。
- 一般管理費：前回予想並。
- その他：概ね前回予想並。

5. 2022年度取り組み

3月に公表した中期戦略及びグリーン戦略に則った着実な事業の遂行

方針

1. サプライチェーンを支えるコンテナ船社として、高品質で安全なグローバル輸送サービスの提供を継続するための投資を着実に実行する。
2. グリーン戦略を当社の最重要経営課題と位置づけ、脱炭素化を始めとした業界の課題に取り組む。
3. デジタル化や運航の効率化、リスク管理を更に強化、業界トップクラスの収益性と安全性をさらに高める。

進捗

投資

- Seaspan社からの長期傭船15,000TEU型10隻の内、一番船 (ONE Freedom) がデリバリー (2022年10月)、今後、2023年度に後続船を受領予定。
- フィリピン向けフィーダー開始 (シンガポール/マニラ/ダバオ)、フィリピン南北ネットワークを強化。(2022年11月)
- 世界最大手のコンテナ船専業船主Seaspan社を傘下に持つAtlas Corp.の株式取得を同社主要株主とともに提案、取得契約合意に至る。(2022年11月)
- 親会社のコンテナ船事業統合の一環として日本郵船・商船三井からの北米西岸ターミナル買収に合意。(2022年12月)
- 貨物イールドマネジメント強化の一環として、自社特殊コンテナを発注 (リーファーコンテナ32,000本、その他特殊コンテナ950本)。(2022年12月)
- 南米西岸フィーダー開始 (イキケ/アリカ/カヤオ)、アジア-南米西海岸サービスを補完するサービスを提供。(2023年1月)

環境

- 国際的環境非営利団体CDP*による2022年気候変動調査でBスコアを取得。(2020年 Dスコア、2021年 Cスコア)
- ONE Trust, ONE Traditionの大型船2隻において、船首に設置することで航行中の空気抵抗を低減しCO2/FOC削減効果が見込まれるBow Wind Shieldを設置。(2022年10-11月)
- CIIへの対応について、本船動静管理システムへのCIIモニタリング機能の実装を完了(2022年12月)

デジタル

- ONE eCommerce / Mobile AppのUI/UXの向上を継続、見積もりからブッキング、B/L発行、支払い、貨物リリース等全ての工程がセルフサービスで完了可能となる。デジタルツールの利用を全世界でプロモーション。

安全

- 運航船を対象とした安全キャンペーンにて、ONE Helsinkiを含む9隻の優秀本船への表彰を実施。(2022年12月)

* 持続可能な経済を実現させる活動を行う国際非営利団体。

CDP の環境情報開示は、企業の環境報告のグローバルスタンダードとして広く認知される。

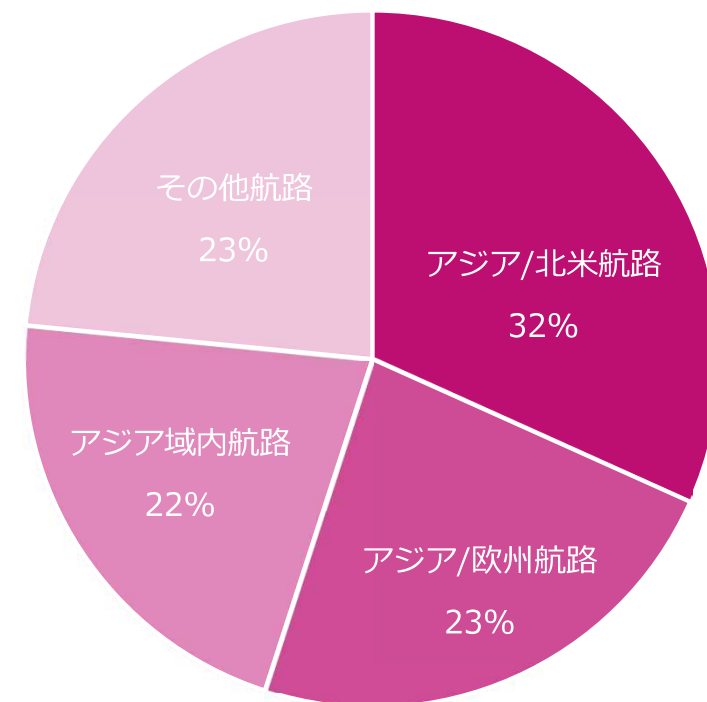
6. 参考資料（船隊構成・航路構成・新造船発注残）

□ 船隊構成

Size		1)2022年9月末	2)2022年12月末	2)-1)
>= 20,000 TEU	キャパシティ(TEU)	120,600	120,600	0
	隻数	6	6	0
10,500 - 20,000 TEU	キャパシティ(TEU)	504,200	519,572	15,372
	隻数	37	38	1
9,800 - 10,500 TEU	キャパシティ(TEU)	110,200	110,200	0
	隻数	11	11	0
7,800 - 9,800 TEU	キャパシティ(TEU)	355,677	355,677	0
	隻数	40	40	0
6,000 - 7,800 TEU	キャパシティ(TEU)	138,307	138,307	0
	隻数	21	21	0
5,200 - 6,000 TEU	キャパシティ(TEU)	32,814	32,814	0
	隻数	6	6	0
4,600 - 5,200 TEU	キャパシティ(TEU)	78,260	83,293	5,033
	隻数	16	17	1
4,300 - 4,600 TEU	キャパシティ(TEU)	62,952	62,952	0
	隻数	14	14	0
3,500 - 4,300 TEU	キャパシティ(TEU)	16,358	16,358	0
	隻数	4	4	0
2,400 - 3,500 TEU	キャパシティ(TEU)	83,874	86,615	2,741
	隻数	31	32	1
1,300 - 2,400 TEU	キャパシティ(TEU)	12,163	10,354	▲ 1,809
	隻数	7	6	▲ 1
1,000 - 1,300 TEU	キャパシティ(TEU)	10,628	10,628	0
	隻数	10	10	0
< 1,000 TEU	キャパシティ(TEU)	966	966	0
	隻数	1	1	0
合計	キャパシティ(TEU)	1,526,999	1,548,336	21,337
	隻数	204	206	2

□ 航路構成

(2022年度3Q 往復スペースの構成)



□ 新造船発注残 (新造長期傭船含む)

	2022年 9月末時点	2022年度 3Q デリバリー	2022年度 3Q 新規発注	2022年 12月末時点
新造船発注残 (隻)	36	1	-	35



免責事項

本資料に掲載されている将来計画や業績予測、戦略、方針、見込み等に関する記載は、資料作成時点で入手可能な情報及び一定の仮定に基づいて作成されたものであり、将来予想に関する記述に該当します。将来予想に関する記述は、予想、予測、期待、傾向、目的、計画、確信、模索、継続、可能性等の文言又は類似する表現が含まれることがありますが、これに限定されるものではありません。これらの記述は、様々な不確定要素及び可変要因により、実際の業績、結果、パフォーマンス等と大幅に異なる結果となる可能性があります。

本資料に掲載されている将来予想に関する記述と実際の結果との間に不一致をもたらす可能性のある要素としては、海運市況の著しい変動や、為替・金利・燃料油価格の変動などが挙げられますが、これらに限定されるものではありません。諸要素の詳細については、EDINETに掲載されている当社の有価証券報告書にも記載されていますので、ご参照ください。

本資料に記載されている将来予想に関する記述は、本資料作成日時点のものであり、当社は、本資料作成日以降に判明した新たな情報や将来の事象により、本資料に掲載された情報を最新のものに変更する義務を負うものではありません。

本資料に掲載されている情報は、信頼できる情報源より取得するよう努力していますが、その情報の正確性または完全性については保証または約束するものではありません。当社は、本資料において使用するデータ及び表現等の欠落、誤謬、本情報の使用により引き起こされる損害等に対する責任は一切負いかねますのでご了承ください。

お問い合わせ先 - IRグループ

住所 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-3-2 郵船ビル
TEL 03-3284-6008
FAX 03-3284-6382

E-mail iroffice@nykgroup.com
URL <https://www.nyk.com/ir/>